

鈴木様

ナマステ。

先日はお電話でお話しできてよかったです。私たちは皆、元気に過ごしております。

インターネットで収集した、カトマンズ市長に関する情報をまとめましたので、ご参照ください。

一点、重要な最新情報をお伝えします。2026年1月18日にバレンドラ・シャー（Balendra Shah）氏が市長を辞任したことに伴い、現在はスニタ・ダンゴル（Sunita Dangol）氏がカトマンズ首都圏市（Kathmandu Metropolitan City）の市長代行を務めています。ネパールの「地方自治運営法」に基づき、市長職が空席となった場合、副市長が市長代行の役割を担うことになっています。

スニタ・ダンゴル氏 — 経歴

氏名：スニタ・ダンゴル（Sunita Dangol / सुनिता डंगोल）

生年月日：1993年5月18日

出身地：ネパール、カトマンズ

年齢：33歳（2026年8月21日時点）

職業：政治家、文化遺産保護活動家、メディア専門家

ミス・ネワ（Miss Newa）：2011年に「ミス・ネワ」のタイトルを獲得。



【文化・社会活動】

政界入りする前は、ネワ（Newa）族の文化遺産保護や、先住民族の言語・文字の保存・普及活動に尽力していました。地元の文字の保存に焦点を当てた若者主導のイニシアチブ「Callijatra（カリジャトラ）」を設立し、特にランジャナ文字（Ranjana script）やネパール・バサ語（Nepal Bhasa）の普及を推進しました。

また、カトマンズ首都圏市の都市計画委員会の最年少メンバーも務め、選挙による政治活動に入る前に都市計画の実務経験を積んでいます。

【政治経歴】

2022年の地方選挙において、CPN-UML（ネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派）の候補者としてカトマンズ首都圏市の副市長に選出されました。68,612票を獲得し、連立与党側のラメシュワル・シュレスタ（Rameshwar Shrestha）氏を破りました。

その後、2025年12月に開催されたCPN-UMLの第11回党大会において、党中央委員に選出されました。カトマンズ市長代行として

2026年1月18日、バレンドラ・シャー（愛称：バレン）市長が辞任しました。当時副市長であったダンゴル氏は、「地方自治運営法」に基づき、自動的に市長代行の職務を引き継ぎました。

この役割において、彼女はカトマンズ首都圏市の行政執行部を率い、市政や行政サービスを統括するとともに、公式な活動において同市を代表する役割を担っています。彼女はすでに、市長としての重要な責務を遂行しています。例えば、2026年6月には、2026/27年度のKMC（市）の政策および事業計画を市議会に提示しました。この計画は、都市インフラ、適切なガバナンス、教育、保健、環境保護、そして公共サービスの向上に重点を置いたものです。

また、世界経済フォーラム（WEF）は、公的な活動や文化の保全における彼女の取り組みを評価し、彼女を「ヤング・グローバル・リーダー」に選出しています。

彼女の写真を添付いたしましたので、ご確認ください。

本情報がお役に立てば幸いです。

敬 具

パサン・ダワ・シェルパ